

第1章 人間としての発達

1. 人間発達の中の乳幼児期（p.8）

① 子どもの成育とその条件

- **発育**とは・・・（ ）にともない身長がのびたり体重が増えたりするように（ ）が大きく成長していくようす。
- **発達**とは・・・からだだけでなく、からだの（ ）のはたらきが（ ）にともない向上すること。
- 成育に影響を・・・（ ）特質と（ ）
及ぼすもの
↓
おとなや社会の努力しだいでよりよくすることが可能である。

② 乳幼児期

乳児期 （ 歳）	幼児期前半 （ ～ 歳）	幼児期後半 （ 歳～就学前）
<ul style="list-style-type: none"> ● あやしたり、言葉がけをするなど（ ）面へのはたらきかけが大事。 ● むずがるときや、何か（ ）を感じているときのだっこも必要。 ● 日常の健康観察も欠かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自我意識が急速に進み、やや（ ）になる。 ● 親など周囲のものがよい手本となり、必要な援助をすることで日常の基本的な（ ）が増え、行動が身についていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人との心の交流、ぶつかりあいを通して人の心にふれ、人の心への理解が進む。 ● 親やまわりの大人からいろいろなことを学んで（ ）という気持ちが強くなる。